

## 株主優待制度

株主の皆様からのご愛顧に感謝し、  
以下のとおり株主優待制度を導入しております。

### 優待内容

■ 基準日	毎年3月31日
■ 株数	100株以上
■ 優待内容	一律3,000円相当のQUOカードを贈呈

### 連続2期以上保有の場合\*

■ 基準日	毎年3月31日
■ 株数	100株以上
■ 優待内容	一律4,000円相当のQUOカードを贈呈

\*連続保有期間2期以上の確認は、基準日(毎年3月31日)の株主名簿に、  
前期末と同一株主番号で連続して記録された株主様といたします。

株主の皆様へ第53期分として贈呈予定のQUOカードのデザインは、  
障がい者アーティストが描いた絵を採用予定です。



ご参考：第52期分として株主の皆様へ贈呈いたしましたQUOカード



ユニバーサルデザイン (UD) の考えに基づき、  
より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した  
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

株主様向け  
アンケート

## 株主の皆様の 声をお聞かせ ください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、  
アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、  
アンケートへのご協力をお願いいたします。  
(所要時間は5分程度です)

- ①下記URLにアクセス
- ②アクセスコード入力後にアンケートサイトが表示

<https://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード 8425

……以下の方法でもアンケートにアクセスできます……

- 検索窓から
- [kabu@wjm.jp](mailto:kabu@wjm.jp) ←こちらへ空メールを送信  
[件名][本文]は無記入。アンケートのURLが直ちに自動返信されます。
- スマートフォンから  
カメラ機能でQRコード読み取り→  
QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です

- **e-株主リサーチ**  
※本アンケートは、株式会社a2mediaの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。  
<https://www.a2media.co.jp>  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

アンケートのお問い合わせ [「e-株主リサーチ事務局」](mailto:info@e-kabunushi.com) (2108)  
MAIL: info@e-kabunushi.com

# MIZUHO

## みずほリース株式会社

### 第53期 中間報告書

2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日

### 目次

株主の皆様へ	1
ハイライト	3
事業の概況	4
連結財務諸表	6
会社概要/株式の状況	9
株主優待制度	裏表紙
株主様向けアンケートe-株主リサーチ	裏表紙



## 当社グループは、パートナーと協働し、 サステナブルな社会の創造に 貢献してまいります。

代表取締役社長

津原 周作

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2021年度上期の経済環境は、新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の制約や消費の落ち込みは避けられない状況が続きました。国内では9月30日に19都道府県に発出されていた緊急事態宣言が解除されましたが、依然として先行きについては不透明感が強く、注意を要する状況にあると認識しています。

こうした状況のなか、当社グループは、2019年度より2023年度までの5年間の計画期間とする第6次中期経営計画に取り組んでおり、お客様と共同での事業推進と社会構造・産業構造の変化を捉えた注力分野（環境・エネルギー、医療・ヘルスケア、不動産、

グローバル、航空機、テクノロジー）への取り組みを推進するとともに、みずほフィナンシャルグループや丸紅グループ、㈱リコー及びリコーリース(株)等の戦略的ビジネスパートナーとの連携・協業による事業基盤の拡大と新たな事業領域への挑戦を行っています。

また、新たに株式取得を行い、業務提携契約を締結した日鉄興和不動産(株)やみずほキャピタル(株)と新しいビジネス領域の拡大にも努めています。

当上期は厳しい事業環境のなか、当社グループ一丸となって知見を持ち寄り、お客様の事業戦略や課題認識に寄り添ったサービスの提供を行ってきました結果、営業資産残高は2兆3,243億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は95億円となりました。通期純利益予想230億円の達成に向け、下期の追い上げを着実に進めてまいります。

当社グループを取り巻く環境が変化するなか、サステナブルであることそのものが強く問われる時代にあります。そのような状況下、お客様をはじめとする様々なステークホルダーの利益を尊重し、皆様と良好な関係を築いていく必要があると考えています。当社グループが有する「モノ」や金融に関わるノウハウを柔軟に活かし、価値ある金融・事業サービスを提供し続けることで持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 株主還元

当社は、株主の皆様に対する利益還元については、収益力の向上を図りつつ業績に応じた配当を実施することを基本方針としております。また、同時に、株主資本の厚みも企業価値を向上させるうえで重要な要素であると考え、株主の皆様への利益還元と株主資本充実のバランスにも十分意を用いて対応しております。

#### 配当金

2022年3月期予定  
1株当たり年間配当金  
110円(前期比18円増)  
(中間55円 期末55円)

#### 株主優待

基準日 毎年3月31日

100株以上	QUOカード 3,000円相当
100株以上・ 連続2期以上	QUOカード 4,000円相当

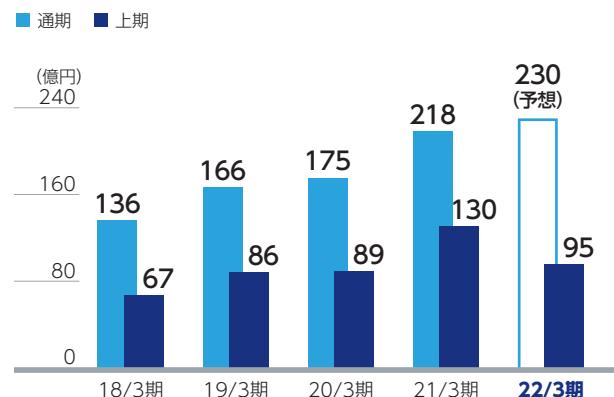
詳細は裏表紙をご覧ください。

# 1 コロナ禍の厳しい環境下、収益性の高いファイナンス資産の積み上げにより、前年同期比で営業利益が増加

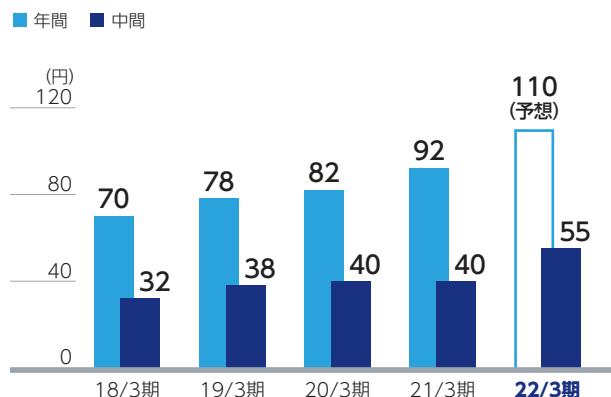
# 2 アライアンスパートナーとの連携強化により、事業基盤を拡大し、新たな事業領域に挑戦

# 3 中間配当金は当初予想通り、55円の配当を実施 —— 年間配当金は18円増額の110円と20期連続で増配を予定

親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益



1株当たり配当金



## 営業状況及び損益状況

2021年度上期の営業状況は、新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の制約等の影響がありました。

当社グループは第6次中期経営計画で掲げる戦略を推進し、アライアンスパートナーとの連携の拡充に加え、新たなパートナーとの連携強化を進めました。その結果、お客様のビジネスや事業上の課題を解決するソリューション提供に着手し、営業資産残高は前年度末比19億円増加の2兆3,243億円となりました。

注力分野の取り組みについては、不動産分野は主に長期性アセットの残高が増加し、社会的ニーズの高い物流施設など多様なタイプの物件を取り扱うことで、収益機会を拡大しています。

環境・エネルギー分野では再生可能エネルギー領域への取り組みを強化し、グループ会社を通じた太陽光

発電所の事業運営や水力発電プロジェクトへ参画するなど新たな取り組みを開始しました。

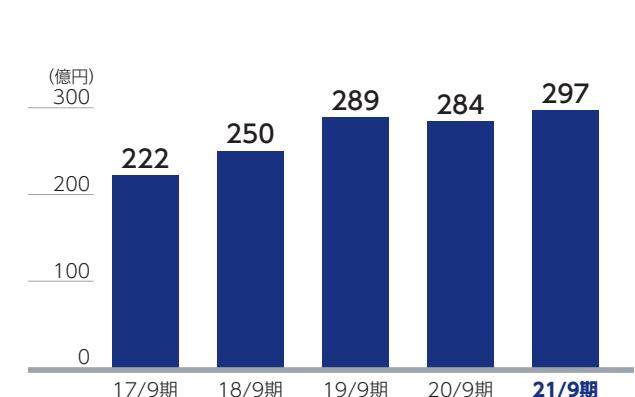
グローバル分野では、営業を開始したシンガポール拠点を活用し、アジア・オセアニア地域における多様なファイナンスニーズや新たなビジネス機会の獲得に取り組んでいます。

損益状況につきましては、差引利益（資金原価控除前の売上総利益）は収益性の高いファイナンス資産の積み上げにより5%増加の297億円となりました。営業利益は信用コストの戻入益等により同18%増加の133億円となりました。経常利益は持分法による投資利益が縮小したことから、同6%減少し138億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に投資有価証券売却益等を特別利益に計上していたことから、同27%減少の95億円となりました。

営業資産残高



差引利益



※本誌記載の予想は、2021年11月9日(2022年3月期第2四半期決算短信発表時)に公表したものです。業績予想につきましては、公表時における事業環境において入手可能な情報に基づき作成しました。実際の業績は、今後の様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

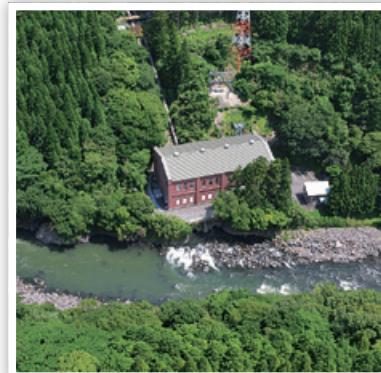
営業トピックス

### 環境負荷が少ない流れ込み式水力発電への参画

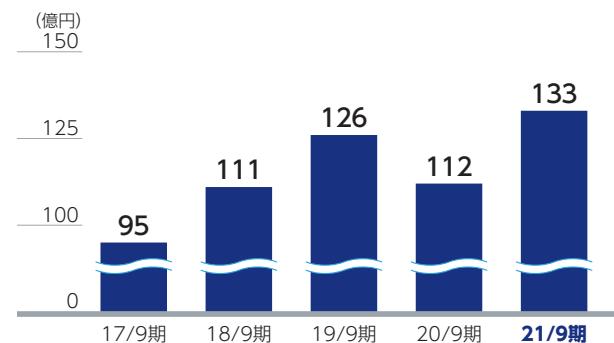
JNCグループさまが運営する水力発電所（白川発電所）にて使用する水力発電設備について、当社は従量課金型のリースを通じて、当該発電事業の売電収入に応じたプロジェクト投資型リースを実行しました。

白川発電所は1914年に操業を開始し、2020年に大規模改修を実施した、発電能力9,500kWを有する水力発電所です。水力発電は二酸化炭素排出量が少なく、「流れ込み式」の仕組みのため、大規模なダムを必要とせず環境負荷が低いことも特徴です。

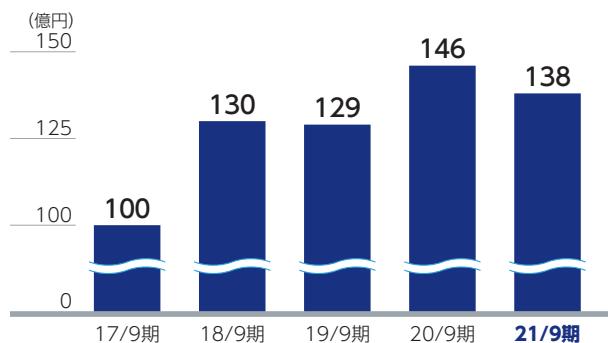
気候変動や資源・エネルギー問題対応の重要性がより一層高まる中、当社グループはお客様と共に事業活動を通して脱炭素社会の実現に貢献することで、持続可能な社会の実現を目指してまいります。



#### 営業利益



#### 経常利益



### 四半期連結損益計算書 (要旨)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	当第2四半期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
売上高	228,719	259,963
売上原価	204,527	233,991
<b>① 売上総利益</b>	<b>24,192</b>	<b>25,972</b>
販売費及び一般管理費	12,943	12,692
<b>② 営業利益</b>	<b>11,248</b>	<b>13,280</b>
営業外収益	4,419	1,202
営業外費用	1,038	705
<b>③ 経常利益</b>	<b>14,629</b>	<b>13,776</b>
特別利益	4,041	20
特別損失	32	9
税金等調整前四半期純利益	18,638	13,786
法人税、住民税及び事業税	4,224	4,165
法人税等調整額	1,098	△243
四半期純利益	13,315	9,863
非支配株主に帰属する四半期純利益	323	370
<b>④ 親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>12,991</b>	<b>9,493</b>

#### POINT

- ① 収益性の高いファイナンス資産の積み上げにより、差引利益及び売上総利益は共に増加しました。
- ② 信用コストの戻入益等により増加しました。
- ③ 持分法による投資利益が縮小したことから減少しました。
- ④ 前年同期は投資有価証券売却益等を計上していたことから減少しました。

#### 用語解説

##### ① 差引利益

資金原価控除前の売上総利益。営業資産から得られる受取利息や手数料等の収入に相当。

##### ② 資金原価

営業資産に見合う有利子負債(借入金、CP等)に対する支払利息。

\* 売上総利益の増減要因

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	当第2四半期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
<b>① 差引利益</b> ①	<b>28,382</b>	<b>29,719</b>
資金原価 ②	4,190	3,747
売上総利益 ①-②	24,192	25,972

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	前期末 2021年3月31日	当第2四半期末 2021年9月30日
<b>資産の部</b>		
流動資産	2,085,064	2,070,828
現金及び預金	21,052	18,805
割賦債権	127,051	119,310
リース債権及びリース投資資産	1,174,068	1,133,095
5 営業貸付金	329,059	352,068
その他の営業貸付債権	171,614	169,203
営業投資有価証券	220,959	246,616
その他	43,496	33,492
貸倒引当金	△2,238	△1,763
固定資産	518,126	563,636
有形固定資産	305,757	310,379
5 賃貸資産	302,140	306,756
社用資産	3,616	3,623
無形固定資産	7,087	7,064
5 賃貸資産	135	128
その他の無形固定資産	6,951	6,935
投資その他の資産	205,282	246,193
投資有価証券	171,991	202,551
破産更生債権等	11,477	20,368
退職給付に係る資産	703	670
繰延税金資産	4,076	4,761
その他	17,559	18,318
貸倒引当金	△526	△477
<b>資産合計</b>	<b>2,603,190</b>	<b>2,634,465</b>

POINT

5 新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の制約や、お客様の設備投資の後ずれの影響がある中、不動産案件の積み上げ等により、営業資産残高は増加しました。

(単位：百万円)

科目	前期末 2021年3月31日	当第2四半期末 2021年9月30日
<b>負債の部</b>		
流動負債	1,492,850	1,494,076
短期借入金	317,783	333,659
一年内償還予定の社債	40,000	20,000
一年内返済予定の長期借入金	228,426	238,495
コマーシャル・ペーパー	714,100	716,100
債権流動化に伴う支払債務	101,458	104,166
その他	91,082	81,654
固定負債	899,486	916,824
社債	170,425	195,485
長期借入金	649,933	645,027
債権流動化に伴う長期支払債務	33,261	30,987
その他	45,867	45,323
<b>負債合計</b>	<b>2,392,337</b>	<b>2,410,900</b>
<b>純資産の部</b>		
6 株主資本	197,452	204,409
資本金	26,088	26,088
資本剰余金	23,941	23,941
利益剰余金	149,148	156,089
自己株式	△1,725	△1,709
その他の包括利益累計額	3,162	8,326
その他有価証券評価差額金	6,509	6,744
繰延ヘッジ損益	△1,227	△1,478
為替換算調整勘定	△2,771	2,452
退職給付に係る調整累計額	652	608
非支配株主持分	10,237	10,829
<b>純資産合計</b>	<b>210,852</b>	<b>223,564</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>2,603,190</b>	<b>2,634,465</b>

POINT

6 株主資本は利益の積み上げにより増加しました。

会社概要 (2021年9月30日現在)

商号 みずほリース株式会社  
 本社所在地 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-6  
 TEL 03-5253-6511 (代表)  
 設立 1969年12月1日  
 資本金 260億8,803万円  
 従業員数 連結1,842名 単体776名  
 事業内容 総合金融サービス業



役員 (2021年10月1日現在)

取締役	社長 (代表取締役)	安津 大周	作 昭憲
* 取締役	副社長 (代表取締役)	原村 隆千利	憲 尋之
* 常務取締役	取締役	山西 安橋	隆 修博
* 常務取締役	取締役	西時 高小根	岸 博文
* 常務取締役	取締役	時高 小根	隆 万里
* 常務取締役	取締役	高小根 勲	隆 肇之
* 常務取締役	取締役	勲 河青	隆 肇之
監査役	監査役 (社外監査役)	船山 木田	信 克也
常勤監査役	監査役 (社外監査役)	釜野 田口	達 英
常勤監査役	監査役 (社外監査役)	野口 信	彦 亨
執行役員	執行役員	永山 峰宏	司 信
専務執行役員	執行役員	山崎 小富	林 理伸
専務執行役員	執行役員	富田 座間	林 理伸
執行役員	執行役員	山田 水街	田 芳隆
執行役員	執行役員	富風 美向	田 保雄
執行役員	執行役員	尾島 関	朝 博
執行役員	執行役員	藤 健	一 雄
執行役員	執行役員	竹 澤	敏 介
執行役員	執行役員	橋本 泰彦	幸 彦
執行役員	執行役員	松折 大阿	昌 彦
執行役員	執行役員	小谷 弘	道 靖
執行役員	執行役員	原村 満	之 喜
執行役員	執行役員	木南 川	一 健
執行役員	執行役員	吉田 健	二 寛
執行役員	執行役員	佐藤 博	英 博

営業拠点 (2021年10月1日現在)

本社	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-6 TEL: 03-5253-6511 FAX: 03-5253-6501
札幌支店	〒060-0001 札幌市中央区北一条西5-2 TEL: 011-231-1341 FAX: 011-231-5727
仙台支店	〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-4-1 TEL: 022-223-2611 FAX: 022-266-9556
首都圏営業第二部	〒330-0845 さいたま市大宮区仲町2-65-2 TEL: 048-631-0751 FAX: 048-631-0754
新潟支店	〒951-8061 新潟市中央区西堀通六番町866 TEL: 025-229-7800 FAX: 025-229-7741
富山支店	〒930-0004 富山市桜橋通り5-13 TEL: 076-444-1080 FAX: 076-444-1083
静岡支店	〒420-0857 静岡市葵区御幸町5-9 TEL: 054-205-3330 FAX: 054-205-3331
名古屋支店	〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11 TEL: 052-203-5891 FAX: 052-203-9025
京都支店	〒604-8152 京都市中京区烏丸通錦小路上手洗水町659 TEL: 075-223-1545 FAX: 075-223-1571
大阪営業部	〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-1-1 TEL: 06-6201-3981 FAX: 06-6222-2541
神戸支店	〒650-0034 神戸市中央区京町69 TEL: 078-392-5440 FAX: 078-392-5441
広島支店	〒730-0031 広島市中区紙屋町2-1-22 TEL: 082-249-4435 FAX: 082-249-8232
高松支店	〒760-0017 高松市番町1-6-8 TEL: 087-823-7321 FAX: 087-823-7324
福岡支店	〒810-0001 福岡市中央区天神1-13-2 TEL: 092-714-5671 FAX: 092-715-0553

株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数 140,000,000株  
 発行済株式の総数 49,004,000株  
 株主数 41,286名

株価推移 (週足)



大株主 (上位20名)	株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
	株式会社みずほ銀行	11,283	23.03
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,205	6.54
	第一生命保険株式会社	2,506	5.11
	丸紅株式会社	2,157	4.40
	日産自動車株式会社退職給付信託口座 信託受託者みずほ信託銀行株式会社 再信託受託者株式会社日本カストディ銀行	1,750	3.57
	リコーリース株式会社	1,500	3.06
	明治安田生命保険相互会社	1,251	2.55
	DOWAホールディングス株式会社	1,120	2.29
	SMBC日興証券株式会社	958	1.96
	株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	954	1.95
	株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社東芝退職給付信託口)	900	1.84
	株式会社クレディセゾン	670	1.37
	飯野海運株式会社	666	1.36
	株式会社日本カストディ銀行 (信託E口)	625	1.28
	JP MORGAN CHASE BANK 385781	511	1.04
	日本生命保険相互会社	504	1.03
	損害保険ジャパン株式会社	420	0.86
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託・株式会社池田泉州銀行口)	405	0.83
	BBHFOR UMB BANK,NATIONAL ASSO-PEAR TREE POLARIS VAL SM CAP FD	404	0.83
	DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	403	0.82

主要グループ会社 (2021年10月1日現在)

国内	みずほ東芝リース株式会社	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-6 TEL: 03-5253-6700
	第一リース株式会社	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-6 TEL: 03-3501-5711 FAX: 03-3501-5748
	ユニバーサルリース株式会社	〒104-0054 東京都中央区勝どき6-5-3 TEL: 03-3536-3981 FAX: 03-3536-3892
	みずほ丸紅リース株式会社	〒102-0081 東京都千代田区四番町6 東急番町ビル TEL: 03-3222-9345 FAX: 03-3222-9351
	リコーリース株式会社	〒102-8563 東京都千代田区紀尾井町4-1 TEL: 03-6204-0700
	みずほオートリース株式会社	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-6 TEL: 03-5253-6800 FAX: 03-5253-6805
	エムエル・エステート株式会社	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-6 TEL: 03-5253-6835 FAX: 03-5253-6834
	エムエル商事株式会社	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-6 TEL: 03-5253-6835 FAX: 03-5253-6837
	エムエル・オフィスサービス株式会社	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-6 TEL: 03-5253-6840 FAX: 03-5253-6839
	日鉄興和不動産株式会社	〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1 TEL: 03-6774-8000

海外	瑞穂融資租賃(中国)有限公司	中国 (上海・広州)
	PT. Verena Multi Finance Tbk	インドネシア
	Mizuho Leasing (Singapore) Pte. Ltd.	シンガポール
	P L M F l e e t , L L C	米国
	Krung Thai I B J Leasing Co., Ltd.	タイ
	PNB-Mizuho Leasing and Finance Corporation	フィリピン
	A i r c a s t l e L i m i t e d	バミューダ
	Vietnam International Leasing Co., Ltd.	ベトナム